

『やる気見てくれ!!!』 運動・食堂 始動!!!



大人のための部活。

子供だけではありません。

くらしサポ&就労支援室合同企画

「大人の部活」運動部編

就労準備メニューの体力づくりとして、大人の部活を開催！

中央エリアコミュニティセンター体育室で、卓球台を4台用意し、バドミントンのネットを張って汗だくで頑張りました。他にもバスケットボール、フライング、ピンボール、ゴルフ、縄跳びなど遊び道具を持ち込んで子供の頃を思い出して楽しんでます！皆さんの感想は、「自信が無くてもやってみると面白い」「失敗したときにツッコミが入るので落ち込まない」「また次回参加します」と、楽しんでいただいている模様。

書きに負けない！



▲白熱のラリー



特定求職者開発助成金 事業所の皆さんへ

当センターでは、生活や仕事に対して不安を抱えている人たちが、安心して生活を送ってもらえるようにできるだけ、相談者に寄り添った支援をおこない、自治体の関係部署や関係機関とのきめ細かい支援体制を構築しています。

現在、毎月50人以上の方が新規に登録され相談にいられています。来談される方の多くは、多様で複合的な課題を抱えています。就労意欲が高く、仕事等に活かせる『強み』を持った相談者も登録しています。また、当センターでは、仕事を探している登録者に、社会性の獲得支援、職業能力の向上、日々のカウンセリング等で、一人ひとりに応じた人材育成を行っています。就労先や人材育成の確保のために、地元、近隣企業さんの協力をお願いしています。求人紹介や職場体験、見学等を行っていますので、事業所の皆様、ぜひ、くらしサポをご利用ください。

*特定求職者雇用開発助成金とは地方公共団体から就労支援の要請がなされた対象者を、ハローワーク等(くらしサポも含む)の紹介により、継続して雇入れた事業主に対して、賃金の一部を助成するものです。
対象者：①生活保護受給者等雇用開発②特定就職困難者(60歳以上65歳未満の高齢者、身体・知的・精神障害者、母(父)子家庭の母等、他)③発達障害者等雇用開発、他



こども食堂 ピーターパン始動

以前まで土居商店街で活動していたピーターパン。7月31日は守口市役所地下1階中部エリアコミュニティセンターに移転後、1回目の活動でした。当日のメニューはエビフライ、ロースハムと白身魚のフリッター、ごはんでした。

← 当日のメニュー



大盛況!
大人もこどもも満腹。←



移転後初ということでもドキドキして調理を進めていましたが、開店時間になるとたくさん子どもたちが足を運んでくれました。夏休みはいろんな方が市役所にいられていました。夏休みの勉強をしていた学生、キッズスペースでお子さんを連れていたママさんたち。今回の活動でお友達になられたママさんたちもいらっしやいました。こどもたちだけでなく、大人たちのつながりの場所としても、たくさんの方たちが「たのしい・おいしい」を共有できる空間でした。

参加して下さったたくさんの方々、本当にありがとうございました。

くらサポ・就労支援物語 ～急成長編～

大きな交通事故で脳に障害が残り、事故後 10 年ぶりに就労継続支援 A 型事業所で就労を開始しましたが数か月で退職。障害は見た目ではわからず、明るく可愛い女性です。

A 型、休憩なしでいいからお給料増やして欲しい！同じことばかりやって飽きてくるねん！

じゃあ A 型じゃなくて障がい者枠の求人探す？

障がい者枠の求人を探しながらくらサポの内職に参加することになりました。

内職初日：今日笑いすぎてツケマ(つけまつげ)取れた！

数か月が過ぎメンバーが卒業したり新しく入ったり、人が入れ替わった頃、聴覚過敏があるメンバーが B さんの元気な声に耐えられないと訴える事件が発生。

私がしゃべったら耳ふさぐ子がいてる！私、一言もしゃべったらあかんの？

その子は聴覚過敏っていう特性があって、B さんの声だけじゃなくていくつか苦手な音があるねん。今後はその子にイヤーマッフやイヤホンを使用してもらいます。イヤホンしてるのは自分のため、B さんを責めてるんじゃないからね。

春になり、内職の前にウォーキングをすることになりました。「前回ここに来たことを覚えていますか？」と聞かれ、「覚えてない。」と言った時のみんなの驚いた表情にひどく傷つき、

もうウォーキングなんか行けへん！私、障害のせいで覚えてられへんねん！！

ごめんね。支援員全員に配慮するよう言っておくべきだったね。

B さんには昨年秋ごろにグループワークで知り合った親友 C さんがいます。

嫌なことがあった時とか自分の悪い所について考えることがよくある。C さんは私が悪いときでも批判せずに聞いてくれるから反省できるんだと思う。くらサポの内職でいろんな人と出会い、自分の障害についても理解が深まった。仕事が退屈だとか、一緒に働く人がどうかよりも、A 型で頑張ってるし、いつか自分ができる仕事に就きたい。

B さん、すごい成長やん！じゃあ A 型の見学に行こう！

と、言う事で、A 型事業所 4 か所を回り、門真市の事業所に決定。

今の A 型、昨日の事さえ忘れてしまうことを理解して接してもらえるのがすごく楽。これまでは見た目ではわかってもらえないので辛い思いをしたけど、今回は事業所に自分の障害を詳しく伝えてもらったことで、気持ちも楽だし、忘れてしまうことを補う努力をするようになった。(スケジュール帳と作業ノートを使っている)

「私、ここにおってもええんやなと思う」